

平成 27 年度永田浜におけるタヌキ、ネコ等によるウミガメの卵や仔ガメの捕食被害実態調査及び防除対策検討業務（環境省 MW 事業）結果報告

1. 業務請負団体

NPO 法人屋久島うみがめ館

2. 業務概要

◇業務内容：

【捕食被害の実態把握】

- ① 捕食痕跡のあるウミガメ産卵巣の数の把握
- ② センサーカメラによる捕食者の動向調査

【捕食防除対策の検討】

- ③ タヌキ捕獲罟の設置
- ④ 捕食者の出没時間に合わせた巡回（試験的に実施）

◇場 所：前浜、いなか浜、四ツ瀬浜（※④は四ツ瀬浜のみ。）

◇期 間：8/1～9/30のうち60日間

（※④は8/22～9/10のうち19日間の21：00～23：00）

3. 結果

① 捕食痕跡のあるウミガメ産卵巣の数

- ・永田浜全体で合計 48 巣の産卵巣に捕食痕跡を確認。（四ツ瀬浜 13 巣、いなか浜 32 巣、前浜 3 巣）
- ・昨年度の調査と比べると捕食痕跡のあった産卵巣の数は増加。（※昨年度は、合計 36 巣（延べ 58 巣）（四ツ瀬浜 25 巣、いなか浜 4 巣、前浜 7 巣））
- ・いなか浜における被害が最も多く、全体の約 67%を占めた。
- ・四ツ瀬浜における被害は、昨年度よりも減少。一方、いなか浜については、昨年度より増加。

② センサーカメラによる捕食者の動向調査

- ・永田浜に出没する動物は、タヌキ、カラス、ネコ、トビの 4 種。全て卵、仔ガメの捕食を確認。（※昨年度と同じ。）
- ・本業務で確認した野生動物の出没回数は 123 回、動物種の出没割合はカラス 44.7%、ネコ 33.3%、タヌキ 20.3%、トビ 1.6%。〔※昨年度はカラス 38%（14 回）、ネコ 32%（12 回）、タヌキ 27%（10 回）〕
- ・出没時間は、カラスが 5：00～8：00、ネコが 19：00～23：00 及び 0：00～6：00、タヌキが 21：00～翌朝 5：00 に集中。（※昨年度とほぼ同様。）

③ タヌキ捕獲罟の設置

- ・猟友会と協力して捕獲罟を設置。
- ・カラスを 7 匹（全て箱罟）、ネコを 6 匹（箱罟 5 匹、くくり罟 1 匹）、タヌキを 1 匹（くくり罟）捕獲。（※昨年度は、ネコを 3 匹、タヌキ 1 匹捕獲。）
- ・捕獲したタヌキの胃や腸からはウミガメの捕食は確認できなかった。（※昨年度と同じ。）
- ・業務期間以外にも捕獲を実施しており、その結果も含めるとタヌキの捕獲はくくり罟が有効と推察。

④ 捕食者の出没時間に合わせた巡回（四ツ瀬浜）

- ・四ツ瀬浜では、巡回開始後6日目までカラス、タヌキの出没を確認。
- ・巡回開始7日目以降は、野生動物は出没しなかった。
- ・また、巡回期間終了後3日目（9/13）まで野生動物は出没しなかった。
- ・四ツ瀬浜の巡回期間中は、いなか浜と前浜でも出没回数の減少を確認。

4. 特記事項・今後の対策（予定）

- ・ネコに関しては、飼い猫の可能性があるので駆除に課題。
- ・タヌキは移入種であり、近年ウミガメの捕食被害が増加傾向にあることから、防除対策が必要。
- ・浜の巡回は、野生動物の出没を抑えられたことから防除対策としてはある程度有効。
- ・来年度は、タヌキに関しては罠による捕獲と出没時間に合わせた浜の巡回を並行して実施する。